世代のかたが楽しく新年を

小学生から大人まで幅広い 八』が開催され、保育園児・

ていきました。

スタートしました。

蹴り(フットサル)に分か

午後は初打ち(テニス)、初

かし、

楽しく汗を流しまし

る活動やイベントが

かかります。気にな すその活動に期待が 動拠点とする予定と

広場 アスボ」を活 能型施設「みんなの ン予定の喬木村多機 ブは、四月にオープ

なっており、ますま

あれば、一度参加

てみてはいかがでしょ

このイベントは、書き初

ぎスポーツクラブ主催の

新年一月三日(水)、たか

たかスポ NEW YEAR

FESTIVAL ::

書いていた子どもは、 も練習し、最後まで粘って めをしました。何度も何度 ながら楽しく宿題の書き初

ほどに美しく力強い字となっ

部構成となっており、午前 め会とスポーツ交流会の二

書いた字をお互いに見 喬木村の小・中学生達

> 合などを行い、お正月で少 どもが入り交じって交流試

しなまった体をしっかり動

たが、クラブによると来年 ンがなくなってしまいまし ツ交流会からレクリエーショ

1001)

ブ問合せ先:三三―

(たかぎスポーツクラ

スとフットサルは大人と子 れてスポーツ交流会。テニ

のイベント。今年はスポー

今年で三年目となったこ



2018年1月16日 発 行 日 発行責任者 喬木村公民館長 瀬 市 編集責任者 公民館編集部長 久 仲 田 志 龍共印刷株式会社

イメージが強い

をいただき、誠にありがと 館の活動にご理解とご協力 うございます。 には、日頃から喬木村公民 うございます。村民の皆様 新年明けましておめでと

理由として挙げているが、 どを理由に世相を表す漢字 五輪の金メダルラッシュな 何といっても大きくなった クなどを「北」が選ばれた 宮、競馬のキタサンブラッ 北海道産じゃがいもの不作、 今年の「北」はマイナスな る漢字である。昨年はリオ 北朝鮮の脅威をイメージす 北海道日本ハムの大谷と清 実験の強行、九州北部豪雨、 漢字は「北」に決定した。 北朝鮮のミサイル発射や核 さて、今年の世相を表す るのではないかと思われる きない人は無能と考えてい 度できる人が有能で忖度で がある。極端に言えば、忖 ことが当たり前とする風潮

空気を読む。言われなくて 葉からは、良い一年であっ あり、世相を表す漢字と言 スなイメージが強い言葉で 友、加計問題で一躍流行語 もやる」、つまり、忖度する 日本には「気を回す(遣う)。 になった「忖度」もマイナ ンスタ映え」はいいが、森 と「忖度」が選ばれた。「イ たとは言い難い感じがする。 また、世相を表す言葉で 大賞に「インスタ映え」 のではないかと 朝鮮が暴発する むではないが、追 いつめられた北

安心できる年で そして、平和で なことを大事 おかしい、大事 心配だ。 だ」と言える 「おかしいことは 今年こそは、

い。窮鼠猫を噛 めようとはしな 兵器の開発を止 まる圧力に抵抗していて核 朝鮮の問題も深刻である。強 考えたりしているのであっ たり自分にとっての損得を ている。上の者に気を遣っ て判断していないのだ。北 て、本質をちゃんと見極め 民館からの新年の挨拶とさ すことを心より祈念し、公 様にとってよい年となりま になりましたが、今年が皆 りたいと思います。終わり きしながら事業を進めて参 せていただきます

本年もよろしくお願いします 用することと、サランラッ 致しました。今回の花寿司 う商店を経営されておられ プを使うという興味深いも づくりは、巻きすを二つ使 ます生嶋恵子さんをお願い ンターにて行われました。 寿司づくり」が老人福祉セ 公民館楽遊塾第五講座「花

講師には、氏乗でこんど

たかぎスポーツクラ

いとのこと。また、

書き初め会



初蹴り(フットサル)

上がったいろ 部切って大皿 彩りの良いと 巻き寿司を全 いろな種類の 巻き寿司が完 てもきれいな に並べました。 し、皆さん



重することだ。あの頃の私 は子どもの人権を尊重して 別や偏見をなくし人権を尊 これは障害のある人への差 会教育での学びの権利を保 にある。学校はもちろん社 ついての権利を認めること 念は障害のある人の教育に た対応を社会に求めている。 障するために、障害に応じ たのだろうか。

(C)再生紙 シュールコート70K を使用しています。

(館長)

去る十二月十日(日曜日) を広げ、この上に先程巻い 敷きます。そこへ薄焼き卵 を広げ、その上にラップを きます。次に乾いた巻きす が上になり、この海苔の上 くり返します。すると海苔 手のひらに取って一気にひっ のせます。寿司飯の上に濡 えながら巻きます。巻いた れた巻きすをのせ、これを に寿司の具をおいて、押さ 、この巻きすは外してお 一面に隙間なく寿司飯を

司飯、それから青じそ漬け 物とでんぶを混ぜた赤い寿 司飯に紅ショウガの刻んだ えていただきました。そし くという珍しい作り方も数 くこともできます。また、 しながら全体にまぶして巻 た寿司の上からかけて転が ごまやおぼろ昆布を、巻い 代わりに海苔や削り節で巻 けば出来上がりです。卵の た寿司を置いてぐるっと巻 て、最も注目したのは、寿

> けましたこと、 加頂き、ご協力 拘らず、大勢のな

申し上げます。

また、今年 心より感謝 していただ 皆様にご参 い時期にも

一月に予定

を混ぜた青い寿司飯を作っ

ち致しておりま 多くの皆様のご されております 度の第六講座が

参加をお待 ので、是非

つの巻きすを水で濡らし

海苔全体の三 たことです。

はスポーツ交流の種

目を増やしていきた

は大変鮮やか も作り、これ 分の一位に載 せて巻いた物 この寿司飯を

初打ち (テニス)

な物でした。

一人二本ず



ていなかった。

インクルーシブ教育の理

指導方法に何の疑問も感じ 褒美をあげるのだが、その 行動を定着させるためにご

裏巻き寿司にも挑戦

から歓声が上が

館活動になるよう、多くの

していただけるような公民

今年も大勢の皆様に参加

あってほしいと願わずには

方々のご意見ご要望をお聞

務教育の対象となった昭和

害のある子どももすべて義私が教師になったのは障

色鮮やかな巻き寿司

あ

の の時 時

である。 分室。 のは伊那養護学校阿南学園 五十四年である。赴任した 飯田養護学校の前身

通常の学級の中で学んだ 今、 特別支援教育は障害

したりすることに一生懸命 呼吸法を教えたり、トイレ ない子どもに発語のための 時間である。私も言葉の出 替の方法を獲得したりする 乗り越えて生きるための代 の改善を図ったり、障害を 護・訓練」という授業があっ は障害の克服であり、「養 いる。当時の特別支援教育 ルーシブ教育を大事にして 取り組んでいた。好ましい が自立していない子どもの た。訓練やリハビリで障害 子どもと一緒に、可能な限 のある子どもも障害のない トイレットトレーニングを (特殊教育と言った)の目的 生活したりする、インク

のではないかと思います。

師走の気忙し

ひと花咲かせて として持ち帰り、

いただけた

家庭でも

それぞれ家族へのおみやげ

えられて、全員 りの美味しい

しました。沢山

のお寿司は で試食会を 漬け物も添 に取り分け

各自持ち寄っ

たタッパー -鳴さん手作

っていまし

おります。

ございます。

昭和57年生

(伊久間)

生だったような気がして、 ります。ついさっきが一年 うございます。 私は、今年で六年生にな 新年あけましておめでと 平成18年生 南

月日が過ぎるのを早く感じ 12 歳 吉川遼子 大平朱夏 年生は、全校の前でも堂々 来ませんでした。でも、六 ましたが、全校になると、 などの意見が出ました。そ りたいかクラスで考えた時、 はずかしくてあいさつが出 スではあいさつが出来てい がんばってきました。クラ して、クラスであいさつを 「あいさつ、返事ややさしい。 昨年、どんな六年生にな

> つをしたいです。 ので、全校をひっぱってい 私は、今年で六年生になる でもはずかしがらずあいさ く番です。なので全校の前 ていてすごいと思いました。 と大きな声であいさつをし

いです。最近は、クラスで の規則が守れるようにした かえをしっかりして、学校 手本になれるように、切り 二つ目には、下級生のお

六年生になりたいです。

りたい。」と思ってもらえる の楽しみになるといいと思 校で、学校に行く事が一日 ています。これからは、下 級生に「あんな六年生にな 私が、一番いいと思うの 学校が明るく楽しい学

ろうかを走らないようにし

楽しい学校にしたいです。 いました。なので、明るく

36 歳 年数がそうじゃない年数を した。数えてみるとちょう 超えたことになります。 前回の戌年は県外から喬 喬木村で過ごした

業後は五年ほど県外にいま 越してきました。高校を卒 親の実家がある喬木村に引っ を迎えたことに大変驚いて 新年あけましておめでとう 私は中学入学と同時に両 早いもので三度目の戌年 の十二年間でしたがそのよ はたかぎスポーツクラブで 慣れ、消防団女性班に入っ 就職したばかりでとにかく しています。あっと言う間 テニスやヨガを楽しんだり て活動させて頂いたり、今 い出します。段々仕事にも 必死で働いていたことを思 木村に帰ってきた年でした。

うな活動を通して同年代だ かの結婚式の時にはお祝い の友達とは今でも月に一 DVDを作ったりしていま ほど集まって飲んだり、 ました。それに喬木の同年 の方と知り合うことが出来 けじゃなくいろいろな年代

たことを本当にうれしく思 今では喬木村が自分にとっ て居心地の良い場所になっ には不安もありましたが、 県外から帰ってくるとき

> 張らなければと思います。 村に貢献していけたらと思 大いに食べ大いに飲み充実 仕事をし、趣味を楽しみ、 した一年にしていければと います。私たちの世代が これからは少しでも喬木 本年もよろしくお願い 今年も健康に気を付けて





|総太りではないな|と夫の言う 元島 康子

採り立ての人参大根ネギ葉物 種子間違へしか今年の大根 籠にあふれて使へと誘ふ つれ添いし四十八年短かり 朝もまた視界さへぎる乳白色は 婚記念日ささやかに祝う 市 内 田 山 中 瀬

この朝も源助かぶなに霜白く

小

椋

l)

ょ

今

准

子

干し柿に良しとふ天竜川霧

逝く秋の寂しくなりしわが庭に

赤

手伝

い思えど踏ん張り効かず

老け覚え孫にゆずりし柿作り

多

田

昭

たかぎ短歌会

原 大村 初 健 彦

福 木 澤 林 亀 睦 枝 見

ポケッ

のラジオ励ましくれる

犬のタロウよひたに愛ほし

遠くより我を見つけて走り寄る

関

島

春子

木犀の香り漂うわが寮の

小ぶりの柿がたわわに実る

秋深み落ち葉降り敷く山道を

原

邦

夫

やうやくに柿剥き終へし雨

の夜

喘ぎあえぎて登る山

城

にんにくと玉ねぎ植える山畑に

木下

寿子

威

校久しき山

の分校

り、経済もあまり豊かでない

那谷を襲った三六災害があ その後、中学三年の時には伊

を持って臨んで

いきたいと レンジ精神

健康で常にチャ

厳あるネコ校長のひげ揺るる

古賀メロディ

のテレビに見入る

天竜

川ゆたかに山里を縫う(松岡城址)

址より眺める対岸明るみて 味をおびて漬け頃となる

知

久

美子

妙子 和子

昭和21年生 (富田) 72 歳

での十二年、自分がどうし

うございます。生まれた時か ることになりました。時の早 間[館報たかぎ]の編集に関 めらいましたが、私も十五年 をお引き受けすることもた ら数え七回目の戌年を迎え ていますのでお引き受けし わり、原稿依頼の苦労を知っ さに驚かされます。今回原稿 新年あけましておめでと 木下温司

き続けることを願うもので 縮刷版の編集に携わったわ えることと思われます。昭和 月号で館報も六〇〇号を迎 けですが、平成三十一年の三 になりました。その間二回の 刻む歴史書として末永く生 た 「館報たかぎ」村の歴史を た次第です。編集部には平成 一十八年八月から発行され 一年ころから籍を置くよう

す。昭和二十八年といえば私 が第二小学校へ入学した年、 私も議会の方でお世話になっ 時代でした。昨年、古希の同 ます。変貌する喬木村の為、 が訪れているも が開通し、高速交通網の時代 変わり、リニア・三遠南信道 うことができまれ ぞれに年輪を重ね 年会を行い喬木中学校の同 には喬木村の様 ていますが、次八回目の戌年 年生と再会しまり 線で活躍してきた姿を伺 ね、社会の第 のと思われ 相も大きく した。現在、 したが、それ

知久隆文 か、真剣に年齢と向き合っ て考えていこうと思います。 昨今、自分の枠から抜け

年では自分自身

六十歳は

ジが頭に浮かび

ます。しか

の二〇一八

要であり、安きに就こうと 強い意志・情熱・勇気が必

希求がなければならない。 する心を叱咤する冒険への

人間は年齢を重ねた時に

と強く言いたい今日この頃。 決しておじいさんじゃない

さて、昭和三十三年に生

1の戌年は中

なくしたときに老いるので 老いるのではない。理想を

昭和45年生

新年あけましておめでと 北 48 _一 歳 多くの人に出会えるきっか います。これからもそのよ きれていませんが、いろい けを沢山創ることができて ろ役職を経験させて頂いて、 うな経験を積んでいけるチャ

りません。もう一回りする になるというのに実感があ うございます。 来ていないからです。 自分が志したことが殆ど出 しかありませんよ。 何故か? と還暦ですよね。もう焦り 今までは、どちらかと言 驚きですね。

もう四十八 ていきたいと考えています。 ていけるよう、目標に向かっ ンスも頂いています。 て確実に前進できる年にし トーです。周りを盛り上げ 「人生裏方」が自分のモッ

と学遊館が跡地

に建設され 鳩十記念館 在は体育館 く前に取り 旧喬木中学

あり、疑念とともに老いる。

人間は信念とともに若く

自信とともに若くあり、

壊し移転して現

刻むが情熱の喪失は心に皺

歳月は人間の皮膚に皺を

を残すのみ、椋

を作る。

学校の頃です。 まれて十二年目

ある。

校校舎はしばられ

から考えると、もっと自分 最近の自分を取り巻く環境 かなか…。難しいですね。 い事は分かっていても、な 自分のやらなくてはいけな まう境目の時だと思います。 ているし、今やらなければ 分のやりたいことを形成し えば人の力に頼りながら自 何も出来なくて終わってし なければいけない年齢になっ で考えた事を実践していか ていけばよかった。でも、 改めて、これから還暦ま

ら気になっていたのですが

りました。そん

な折、前か

失望とともに老いるのであ

希望ある限り人間は若く、

恐怖とともに老いる。

の校舎に入ることが多くな がるとPTA絡みで新中学 持ち、子どもが中学校に上 ています。私自身も家庭を

昭和33年生 60 歳 \boxplus 田中生輝

気がしてならないのです。私

わかりませ

持ちを忘れずにいたい! ようにいつまでも青春の気 刻」という言葉が似合わぬ ショーウィンドウの中に、 現在の中学校の職員室前の

「青春の詩」があ

ったような

軟性が無くなり「頑固」「一

(サミュエル・ウルマン抜粋)

還暦を迎え、体も心も柔

す。今でも私には六十と聞 は元気いっぱい櫓がしなる はとってもお舟をこぐとき かし六十のおじいさん年 くと[おじいさん]のイメー ~一九四一年発表の童謡 「船頭さん」の歌詞の一節で 村の渡しの船頭さんはむ が中学の当事に見たものと 撃を受けました。 同じかどうかは、 んが、その詩の内容には衝

ことだ。 ことではなく心 若くあるためには、創造力・ 青春とは人生 の一時期の の在り方の

吾輩は犬である。名前は

張り切って生きたい。 もうある。今年は吾輩の年。

どろむ。それが吾輩の一番 が「く~ん。」と泣けば必ず つぶやきが聞こえてくる。 て黄金色に背中を輝かせま 連れて行ってくれる。 をもらってきた者(お父さ 雨の日も雪の日も毎日連れ 歩から始まる。お母さんが んなに夜遅くなっても吾輩 ん)が行けばいい。」と心の て行ってくれる。たまに 「犬の散歩は犬を欲しがった 落ち葉の布団に丸くなっ 息子も優しい。仕事でど 吾輩の一日は朝六時の散 (娘)が行けばいい。犬